

e-Learning 研修「研究費等の適正な使用について(ver.10)」受講方法

(1) ログイン

- ・ <https://kenkyu-tekisei-el.rp.kyoto-u.ac.jp/el/>にアクセスし、教職員は SPS-ID とパスワード、日本学術振興会特別研究員等で ECS-ID を取得された方は ECS-ID とパスワードを入力して「開始」をクリックしてください。

京都大学
e-Learning 研修システム
「研究費等の適正な使用について」

IDをお持ちの方は登録ユーザーをクリックしてください

① SPS-ID/ECS-ID 及び
パスワードを入力してください。

登録ユーザー

ログインID

パスワード

ログイン情報を保存する

ゲストユーザー

開始

② 「開始」ボタンを押してください。

○ログインできない場合

- ① SPS-ID/ECS-ID 又はパスワードが間違っていないか確認してください。
- ② 以下のエラーメッセージが表示された方は、SPS-ID/ECS-ID とパスワードは合っていますが、本研修システムに登録がされていないので、部局事務担当にお問い合わせください。
『研修システムに未登録です。各部局担当者／掛にお問い合わせください。』

○SPS-ID/ECS-ID を取得していない場合

名誉教授、学生以外の日本学術振興会特別研究員（SPD・PD・RPD 等）等、SPS-ID /ECS-ID を取得していない場合は、事前に本人申請による ECS-ID の取得が必要となります。

取得の方法は、以下の URL を参照してください。

＜情報環境機構：ECS-ID（学生アカウント）の取得と継続申請＞

https://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/cert/ecs_id/use/ecs_account.html

取得後、研修システムへの登録について、部局事務担当にお問い合わせください。

なお、「ゲストユーザー」として受講することもできますが、受講記録は残らず、誓約書の提出もできません。

○受講可能なネットワーク環境について

- ・インターネットに接続できる環境であれば、学外ネットワークからでも受講可能です。
- ・動画教材については、以下のブラウザで再生可能です【推奨受講環境】。

- Google Chrome (ver.27 以上)
- Firefox
- Internet Explorer (9 以上)
- Edge
- Safari (ver.6 以上)


※ブラウザは最新のバージョンをお使いください。

(2) 氏名等の確認

- ・画面右上に、ログインした受講者の氏名等が表示されていますのでご確認ください。

(3) 研修の選択

- ・「研究費等の適正な使用に関する研修」、「本学の会計手続きに関する研修（発注・検収・検査）」のいずれかを選択してください。なお、誓約書を提出いただくためには、最終的に両方の研修を受講する必要があります。



京都大学
e-Learning研修システム
「研究費等の適正な使用について」

ブラウザの[戻る] [更新]ボタンを使用しないでください。

研修を選択してください
Select which test you wish to take.

両方の研修を受講して下さい。
Please note that you are required to pass both tests.
両方の研修で理解度チェックの正解率が80%を超えると誓約書のリンクが表示されます。
If you answered eight or more questions correctly in each of the tests, the "Pledge" button will be displayed on the page.

| | |
|---|---|
| 研究費等の適正な使用に関する研修 The Proper Use of Research Grants (研究推進部) (Research Promotion Department) | 本学の会計手続きに関する研修（「発注・検収・検査」） The accounting procedures ([Ordering, Acceptance Inspection, and Inspection of Purchased Goods]) (財務部) (Financial Department) |
|---|---|

両方の研修を受講してください。

誓約 (Pledge)

(4) 教材の選択

- 日本語版、英語版のいずれかの教材を選択してください。



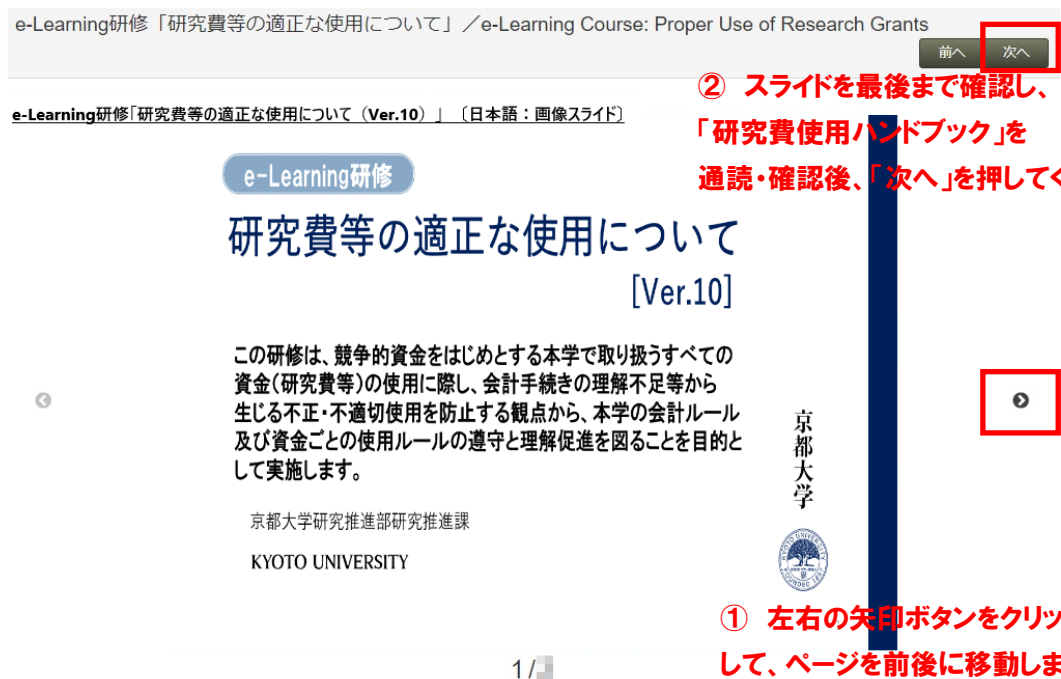
(5) 受講

- スライド教材を確認し、研修テキストとして「研究費使用ハンドブック」を通読・確認してください。

「研究費使用ハンドブック」

<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/research/rule/public/competitive/handbook>

※ハンドブックは令和3年1月に改訂していますので、最新版を使用してください。



② スライドを最後まで確認し、「研究費使用ハンドブック」を通読・確認後、「次へ」を押してください。

① 左右の矢印ボタンをクリックして、ページを前後に移動します。

(6) 理解度チェック

- 受講完了後、画面右上の「次へ」へ進んで「理解度チェック」を受講してください。以下の画面のように問題が一問ずつ表示されますので、選択肢にチェックを入れて「次へ」を押してください。問題数は全部で 10 問です。

京都大学 e-Learning研修システム 「研究費等の適正な使用について」

受講日(最高得点獲得): 20/01/21 正解率: 100% 誓約日: 20/01/21 更新

e-Learning研修「研究費等の適正な使用について」 / e-Learning Course: Proper Use of Research Grants

前へ 次へ

理解度チェック

Q1. 給与・謝金の支給に関する以下の使用事例について、適切な事例はいくつあるか？

(1) 監督者である教員は、非常勤職員から毎日終業時に業務報告メールを受け取っていたので、勤務表については毎日の報告と同じ内容が記載されていると思い、内容を確認せず1ヶ月まとめて押印した。
(2) 事業実施者である教授が、学生に研究補助作業を依頼したが、出張と重なった日があったため、その日は同一研究室の准教授に作業実施の事実確認を委任した。委任を受けた准教授は事実確認のうえ勤務表に自身の確認者印を押印した。
(3) 学生に研究補助作業を依頼する際、前年にも同じ学生に似たような作業を依頼したことがあったので、業務内容等の事前説明や書面での従事意思の確認は省略した。

Q1. How many of the following cases are deemed appropriate with regard to payment of salaries and compensation payments?

[Cases in question]
(1) The faculty member who functioned as a supervisor received work reports from a part-time staff member by email at the end of each day's work. He then affixed the relevant seal to the employee's attendance timetable without personally confirming what was recorded on it, assuming that the timecard should agree with the email work report received each day.
(2) The professor in charge of a project asked a student to carry out research assistant work but, needing to go on a business trip on one day during the work period, the professor requested that an associate professor from the same research office confirm the facts as to how the work was carried out. The associate professor who was in charge duly confirmed the facts and affixed the relevant confirmation seal to the student's timecard.
(3) When asking a student to carry out research assistant work, the responsible faculty member did not provide the student with any prior explanation regarding matters such as the details of the work and did not obtain written consent from the student to confirm his/her willingness to take on the work because said member had asked the student to carry out similar work in the previous year.

☐ 2つ (two)
☐ 全て誤っている。(No correct statements.)
☐ 1つ (one)
☐ 全て正しい。(All are correct.)

② 回答を選択して、「次へ」を押してください。

① 回答を選択してください。

(7) 理解度チェック終了後

- 理解度チェックで 8 問以上正解した場合は、画面中段にもう 1 つの研修のリンクが表示されます。もう 1 つのサイトを受講されていない場合は、リンクから進んで受講してください。(理解度チェックで正解数が 8 問に満たない場合は、8 問以上正解するまで繰り返し理解度チェックを実施してください。)

京都大学 e-Learning研修システム 「研究費等の適正な使用について」

ブラウザの[戻る] [更新]ボタンを使用しないでください。 受講日 (

e-Learning研修「研究費等の適正な使用について」 / e-Learning Course: Proper Use of Rese

受講終了
お疲れ様でした、受講終了です。
研修システムは何度でも受講することが出来ます。
もう一度受講する場合は画面左上ロゴをクリックして動画教材を選択してください。

理解度チェック：全問正解です

誓約書を提出いただくためには、両方の理解度チェックでそれぞれ8問以上正解いただく必要があります。
下記のリンクより、もう1つの理解度チェックへお進みください。

[財務部監理課の研修へ](#)

もし宜しければアンケートにもお答えください。 [アンケートはこちら](#)

(8) 誓約書の提出

- 「研究費等の適正な使用に関する研修」、「本学の会計手続きに関する研修（発注・検収・検査）」の理解度チェックでそれぞれ 8 問以上正解すると、以下の受講終了画面に誓約書リンクが表示されます。「**誓約 (Pledge)**」ボタンを押して、**誓約画面**に移行し、**事項を確認の上、誓約してください。**この画面が表示されましたら、e-Learning 研修の受講完了となり受講履歴に記録されます。
※アンケートの実施は任意となりますが、極力ご協力をお願いします。

e-Learning 研修「研究費等の適正な使用について」／e-Learning Course: Proper Use of Research Grants

受講終了
お疲れ様でした、受講終了です。
研修システムは何度でも受講することが出来ます。
もし一度受講する場合は画面右上ロゴをクリックして動画教材を選択してください。

誓約 (Pledge) **誓約書の提出が必要です!**
You have to submit the pledge.

① 以下の回答・解説を確認の後、
「誓約 (Pledge)」ボタンを押してください。

上記ボタンより、誓約を行ってください。
もし宜しければアンケートにもお答えください。 [アンケートはこちら](#)

理解度チェック：全問正解です

設問の選択肢左側の✓マークがあなたの回答です。 赤字表示の選択肢が正解の選択肢です。

Q1. 給与・謝金の支給に関する以下の使用事例について、適切な事例はいくつあるか？

(1) 事業実施者である教員が、業務効率化の観点などから、事業期間終了後、自分自身が作業実態の事実確認をして、勤務表（作業確認表等）にまとめて監督・確認者印を押印した。

(2) 事業実施者である教授が、学生に研究補助作業を依頼したが、出張と重なった日があったため、その日は同一研究室の助教に作業実態の事実確認を委任し、助

誓 約 書
Pledge

最高管理責任者(京都大学総長) 殿
To the President of Kyoto University,

以下の事項について、チェックの上、誓約・提出のボタンを押下してください。
Please carefully read the items below and push the button for a pledge.

☐ 以下の事項について、確認の上、遵守徹底することを誓約します。また、誓約・提出は、SPS-IDまたはESC-ID等の保有者本人のみが行うものとします。
I am a holder of SPS-ID or ESC-ID. I carefully read and understand the contents below. I will thoroughly observe them and I myself submit the pledge.

(誓約事項)
公的資金の適正使用に関して、以下のことを遵守徹底することを誓約します。
Regarding the appropriate use of public funds*, I hereby solemnly swear:

1. 公的資金の使用に際し、京都大学の関連規程等のルールを遵守します。なお、これらが改正された場合、改正後のものも厳密に遵守します。
That I will comply with the rules and regulations of Kyoto University regarding the use of public funds, including any rules and regulations which are modified or newly created subsequent to this Pledge.

2. 公的資金の不正使用(カラ給与・カラ謝金、カラ出張及び出張旅費の水増し請求、カラ発注(賄い金)、書類の書き換え及び差支行為、その他虚偽の書類作成等)を行わず、また、これらの不正使用に加担しません。
That I will not engage or take part in any misuse of public funds in the form of fictitious salary payments or financial awards, fictitious business trips or padded travel expenses, fictitious purchases, kickbacks, or any other form of document falsification or forgery.

3. 前述の不正使用を行った場合は、公的資金の配分機関及び京都大学からの処分があること及び法的責任を負うことを理解し、それに同意します。
That I acknowledge that committing fraudulent acts such as those described above are subject to disciplinary action by both the provider of the public funds and by Kyoto University, and I agree to receive any penalties that may be imposed on me and accept legal responsibility for any such misconduct.

※「公的資金」とは、「国立大学法人京都大学における競争的資金等の適正管理に関する規程」に定める競争的資金等を含め、京都大学で管理する全ての資金(運営費交付金、寄附金等)を指す。
* "Public funds" refers to all funds (operating expenses, donations, etc.) that are managed by Kyoto University (including "competitive funds" as specified in the relevant university rules and regulations).

③ 誓約・提出ボタンを押してください。

上記の事項について、誓約・提出します。
Submit the Pledge.

(9) 受講・理解度チェックは行ったが、誓約書の提出を忘れた場合について

- ・ 受講状況は、再ログイン後の「選択画面」でご確認いただけます。
それぞれのサイトの下に、受講日（最高得点獲得）と正解率が表示されます。
- ・ 両方の理解度チェックで8問以上正解していると、研修選択画面に「誓約(Pledge)」ボタンが表示されます。ボタンを押して、誓約画面に移行し、事項を確認の上、誓約してください。※以降は「(8) 誓約書の提出」参照。

京都大学
e-Learning研修システム
「研究費等の適正な使用について」

ブラウザの[戻る] [更新]ボタンを使用しないでください。

研修を選択してください
Select which test you wish to take.

両方の研修を受講して下さい。
Please note that you are required to pass both tests.
両方の研修で理解度チェックの正解率が80%を超えると誓約書のリンクが表示されます。
If you answered eight or more questions correctly in each of the tests, the "Pledge" button will be displayed on the page.

研究費等の適正な使用に関する研修
The Proper Use of Research Grants
(研究推進部)
(Research Promotion Department)

受講日（最高得点獲得）：2020/01/21
The date on which you took the course (Highest score)
正解率：100%
Test scores

大学の会計手続に関する研修（「発注・検収・検査」）
The accounting procedures
(「Ordering, Acceptance Inspection, and Inspection of Purchased Goods」)
(財務部) (Financial Department)

受講日（最高得点獲得）：2020/01/21
The date on which you took the course (Highest score)
正解率：100%
Test scores

誓約 (Pledge)

誓約日：未

以降は「(8)誓約書の提出」参照

(10) その他留意事項

- ・ 8問以上正解するまで、受講済みとは認定されません。8問以上正解できるまで繰り返し理解度チェックを実施してください。
- ・ 前回の e-Learning 研修「研究費等の適正な使用について (Ver.9)」を受講し、誓約書を提出した場合であっても、今回の e-Learning 研修「研究費等の適正な使用について (Ver.10)」については、改めて受講及び誓約書の提出をお願いします。
- ・ 右上に表示されている「受講日」や「誓約書提出日」は その横の更新ボタンを押すことで状態が更新されます。
- ・ 右上の[所属部局・氏名]▼をクリックし、ログアウトしてください。
※誓約書のダウンロード項目がありますが使用しません。

以上